

① 小中学校普通教室エアコン設置について

平成29年4月1日現在での文部科学省調査では、全国の小中学校普通教室のエアコン設置率が26年調査にくらべ、16.8ポイントも上昇している。この結果は最近の温暖化に対する対策として、学校普通教室へのエアコン設置は緊急の課題として取り組んだ結果だと思う。本町の小中学校普通教室のエアコン設置の考えを質問する。

- (1) 29年度の夏期において、熱中症での体調不良を訴えた児童生徒及び職員はいるのか。
- (2) 文部科学省の学校環境衛生基準では、温度は10度以上30度以下が望ましい。相対湿度は30%以上80%以下が望ましいとなっているが、こうした基準に対しての対策は。
- (3) 学校の温度ならびに湿度の計測はどの様に行っているか。
- (4) エアコン設置の考えはどうか。

② 就学援助の拡充について

就学援助は、学校教育法第19条「経済的理由によって、修学困難と認められる場合は、市町村は必要な援助を与えなければならない」とある。給付条件は生活保護基準を参考にしているが、所得基準は自治体の裁量となっている。

現在の物価状況やこれまでの税及び社会保障負担の増加など考慮すると、現状の長与町の就学援助支給となる所得基準は、県下自治体と比較しても低く改定が必要と考える。

- (1) 本町の所得基準額を引き上げる考えはないか。
- (2) 補助対象範囲に、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費などの追加の考えはないか。

③ 高田保育所上部の町有地について

平成29年第3回定例議会の、同僚議員の質問の中で、高田保育所上部に位置する町有地の取扱に対し、町長は「公社の先行取得用地であり、買い戻し後、売却を考えている」と答弁された。

その後、議会報告会で、高田郷住民の方から「この用地は地域の公園として毎日使われており、交流や親睦、健康維持の場として無くなっては困る」「高田地域の老人会などの行事でも100人から150人集まり活用されている」「売却されては困る」と苦言が数多く出された。以上の内容から質問をする。

- (1) 地域の実情を十分に把握すべきではないか。
- (2) 売却方針は再考すべきではないか。

以上質問する。